

学生生活を振り返って

理学部生命科学科 八木理紗子

私は医学分野で貢献したいという思いからライフサイエンスに興味を持ち、この兵庫県立大学理学部への入学を決めました。ここで学んだことを社会で活かしたいという思いが強かったため、大学生活は勉強に主眼を置いていました。

一年生の時は比較的ふらふらと遊んでいましたが、学年が上がるごとに実習や勉強に忙しくなりました。それは決して嫌気がさすものではなく、私にとってとてもエキサイティングな日々でした。

講義の後に参考文献を調べて講義内容を自分なりに補完させたり、または予想問題を作って記述式の解答を数十問と用意してテストに備えたりと、だれにも負けないつもりで勉強していました。実習後は何度も先生に質問しに行き、少しでも良いレポートを仕上げようと躍起になっていたように思います。

その頃は勉強熱心な仲間と夜まで勉強し、馬鹿な会話をしながら食堂で一緒に夕飯を食べて、寮のお風呂ではナイショのお話で盛り上がるのが日課でした。あっという間に月日が過ぎて行きましたが、いつも友達に囲まれて充実した日々でした。

研究室に配属されてからは、まだ誰も知らないことを自分の手で解明していくことの面白さに夢中になりました。寝るためだけに寮に帰るような毎日でしたが(笑)、今までで一番充実した一年だったと思います。

さらに進学し、研究を続けたいとも思いましたが、私は学部卒で社会に出ることを選びました。早く自分の力を社会で活かしたい、試したいと考えたからです。就職活動を通し自分を見つめなおすことで、医療関係ではなく製パン企業に就職することにしましたが、この4年間で学んだことは決して無駄にならないと思っています。今の私の夢は、自分の作ったパンを世界中の人々が食べてもらい、ニコリ笑顔になってもらうことです。

入学当時、大学は決められた答えを暗記するのではなく、答えを探す方法を学ぶ場所だと教わりました。勉強に限った事ではありません。自分でどのように考え、どのように答えを出すかが大事なのです。今では、多少なりともそれができるくらいに成長できたと思っています。

さて、これを読む皆さんに行ってほしいことがあります。それは、「コレ!」と決めたことに全力でぶつかることです。大学生活では、自由な時間が豊富に与えられます。それをどう使うかは自分次第です。勉学以外に課外活動やアルバイトにボランティアなど、何をしてもきっと素晴らしい経験を得られるでしょう。けれど、せっかくの豊富な時間を、ぼーっと過ごしてしまっただけではもったいないですね。この大学生活中に、色んなことに全力で挑戦してください。そうして誇れる経験をたくさん積み重ねてほしいと思います。そうした経験が、社会人として世に出るとき、きっと自信になるはずですよ。

「よし、やるぞ!」と思ったあなたが、この兵庫県立大学で活躍し、大きく成長することを期待しています。頑張ってください!